

## 松本市の行政評価

### 1 はじめに

時代に即した行政需要に的確に対応し、市民サービスのより一層の向上を図るとともに、第10次基本計画の着実な推進を図るため、新たな行政評価制度を実施しました。

### 2 行政評価とは

一般的に、「行政の活動を何らかの統一的な視点や手段によって客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるシステム」をいいます。

### 3 松本市の行政評価

#### (1) 位置付け

P D C A (Plan 計画→Do 実施→Check 評価→Action 見直し) という経営のマネジメントサイクルにおけるC機能として「事務事業の選択と集中」の具現化(業務の有効性及び効率性の確保)を図るシステムとして実施します。

#### (2) 目的

ア 成果を重視した評価によって事務事業効果を明確にし、総合計画の更なる推進、事務事業の効率的な実施等を図ること。

イ 事務事業の目的や成果を市民に公表することにより、行政としての説明責任を果たすこと。

#### (3) 実施内容

ア 内部評価 …… 庁内評価

イ 外部評価 …… 市民委員会

ウ 市民満足度調査 …… 市民を対象としたアンケート調査

#### (4) 内部評価

「事業の狙い」、「事業の内容・実績」、「指標の達成状況」、「コスト」、「現状に対する認識」を明確にし、事務事業の実施担当課が評価を行います。

#### (5) 外部評価(市民委員会)

市が自ら実施した内部評価を基に、施策の進捗状況を客観的な視点から検証します。

#### (6) その他

行政評価の結果については、実施計画、予算編成、行政改革を通して、翌年度以降の事務事業に反映することとしています。

#### 4 市民委員会

##### (1) 委員

ア 有識者 3名

大学関係者 3名（信州大学、松本大学）

イ 市民 22名

男女別、年代別の無作為100名の市民の方に就任をお願いし、22名の方から承諾をいただきました。

ウ 任期

就任年度の末日まで

##### (2) 施策の推進に対する意見（14施策程度）

着実な施策の推進を図るため、**事務事業そのものの評価ではなく、事業の狙い、事業内容、現状に対する認識、指標の達成状況**、に着目し、全体を通したその事業の進捗状況から、次の項目について意見を述べていただきました。

ア 施策の評価

基本施策から抽出した事業について、事業全体が狙いに向けて進捗しているか、現状に対する認識が正確に把握されているか。

イ 指標の達成状況

指標の達成状況が平成32年度の目標に向かっているか。

##### (3) 評価方法

各委員が3班に分かれて、抽出事業に対し、上記で述べた視点から、委員の皆様が事業に対して感じられた意見を述べていただきました。

事務事業評価票の見方

事務事業評価票

(例)

部局名	総務部	課名	人権・男女共生課	課CD	01370000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	男女共同参画推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

公約	主な取組み
5つの重点目標	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	男女共同参画推進費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
学識経験者や関係団体の代表から成る付属機関の運営、市民対象の意識調査、県内他市と合同での研究・情報交換を行い、本市の男女共同参画を推進するもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市男女共同参画推進委員会  
学識経験者・関係団体代表からなる付属組織「松本市男女共同参画推進委員会」を開催し、男女共同参画計画の策定、施策推進に外部の意見を反映させる。  
・実施回数 3回
- 男女共同参画・人権に関する意識調査  
松本市民の男女共同参画に対する意識動向等を把握し、男女共同参画計画や諸施策に反映させるため、意識調査を定期的を実施するもの  
・5年に1回実施(直近は平成28年度)
- 長野県19市男女共同参画行政事務研究会  
県内各市の取組状況、共通課題への対応、事例研究等の情報交換を行い  
本市の男女共同参画の施策に反映させる。  
・実施回数 1回(会場は19市輪番制)
- 男女共同参画推進委員等研修会  
当該委員ほか一般市民も含め男女共同参画に対する見識を深めるため講師を招いて研修を行う。

<現状に対する認識>

平成28年度の意識調査では、家庭における家事の分担については依然として男性の参加が少ないが、平成23年度に実施した調査と比較すると微増しており、少しづつではあるが変化が表れている。  
審議会における女性委員の割合については増減を繰り返しながらも微増の傾向が続いている。

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	男女共同参画地区別委員の設置				
指標の設定理由	地域における男女共同参画を推進する指標とするため				
目標値	35		35	35	35
実績値	35				
達成度	総合評価基準(%数値は成果指標の達成度)				
② 成果指標(指標名)	松本市				
指標の設定理由	社会				
目標値					
実績値					
達成度					

総合評価基準(%数値は成果指標の達成度)  
 A: 順調(80%以上)  
 B: おおむね順調(60~79%)  
 C: 改善が必要(40~59%)  
 D: 大幅な事業改善が必要(20~39%)  
 E: 目標達成困難(20%未満)  
 ※事業の中には目標値を達成していても、B評価とし、更なる目標達成を目指している事業もあります。

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,411	56			
国・県					
利用者負担金					

- ①事業の狙い、②内容・実績、③達成状況からの総合評価に着目
- 指標の進捗状況がH32年度の目標の達成に向かってるか
- 進捗状況等に対し、④現状に対する認識が正確に把握され、指標の推進に向かってるか等のご意見をお願いいたします。

合計コスト①+②	7,794	6,128			
前年度比	—	78.6%			